



特性カクテルで晩餐会

## X-Training Vol.4

2000.6/29 ~ 7/1

### 雪彦山キャンプ

天候 > 曇 / 晴

今回のメインは何とんでもその名の通りのシャワークライミングであろう。先々週に下見をしたときは楽勝に登降出来るを思っていたのだが先週の4~5日の大雨で水量がかなり増えていてちょっとしたスリルが味わえる滝に変身していた、私の内なる気持ちはワクワクである。

金曜の夜からそちらでキャンプをしてトレーニングをしたいと「コスミック」の女性二人から気合いの入ったMailが届く。早速にこちらのメンバーに声をかけキャンプには計5人が参加した。

雪彦山はまたも素晴らしいプレゼントを与えてくれた・・・。

6/29

ホテルの乱舞



お茶目なケイ&エミ

メンバー

大塚賢一 45才、福迫順一 37才、  
岸本陽介 27才、田代啓子 37才、  
吉岡恵美 27才、木倉博 37才、  
田中彰 26才

カテゴリー

登山、懸垂下降、ウォールクライミング

20:15 雪彦山ふもとのテントサイトに着く。

発電器を回し、電灯を確保して早速にテント設営を済ませ、食事の準備にとりかかること数十分・・・手慣れたものである。

落ち着いたところで、電灯を消せば、なんと近頃めっきり見られなくなった無数のホタルが飛びかっている。薄い金色の光を放つ残像のイルミネーションは闇夜に遭遇する流れ星のようで心が癒される思いである。

特性のカクテル

福さんの隠し芸が初オープンされた・・・  
なんと、数種類のリキュールを持参して本格的にシェーカーを振り、カクテルグラスに注がれる「マティーニ」「スクリュードライバー」、本日のオリジナルカクテル「雪彦の蛍」etc、は彼の知られざる世界を覗かせてもらい非常に盛り上がった。

「足を先に持って行くな！っ！、右手をゆっくり緩めて！っ！、岩での下降を思い出せ！っ！、冷静になれ！っ！」シャワーの轟音にかき消されながらも私の大声が虹の滝にこだまする。

## エコ・チャレンジのVTR

X-TrainingのキャンプとなればVTRを観てテンションを上げていくのも当たり前になってきた。

### 最大のメインはお茶目な女性陣

なんといっても雪彦の闇夜に花を咲かせてくれたのは大阪よりカッ飛んで来た**ケイ&エミ**の2人である。素晴らしい躍動感にあふれた活発な二人の透き通った瞳の中に雪彦の闇夜も包まれて・・・、やがて小鳥たちのモーニングコールで朝を向かえる。

7/1

5:00 山頂付近はガスって見えない。

しかし天気予報では回復傾向で暑くなるとのことである。今日のメインであるシャワークライミングが楽しみである。

メンバーも木倉、アキラと二人増える。

7:30 ザイル、ハーネス、ピナ、ウエット、沢靴etc ザックに詰め込み行動開始。

すがすがしい早朝の山はいつ来ても素晴らしいものである。

彼女たちはこの雪彦山は初登山なので・・・「もし両手をつくのが100回以内だったら100万円ものや!」と、朝から気合いを入れてやるが、いかにせん10mを登らないうちに手を着かねば登られない・・・低山ではあるがそれほどに面白い山なのである。

しかし数々の岩盤をクサリを使わずに登り切る勇士はさすがである。そうこうするうちに山頂を過ぎいつものロープワーク地点にたどり着く。

早速に私から懸垂下降で降り、以前に教えたメンバーに彼女達のフォローをしてもらう。彼



こわいなあ～



ケイ やったぜい～！ エミ

らも2～3度はやっているのもう手慣れたもので、結び方も完璧に覚えてしまったようである・・・遊びの責任は自分自身が持つ！（私の口癖である）

彼女たちも最初は少々ビビっていたものの回数を重ねることに慣れてきたようで左手を離しても余裕の笑顔？である。

天気も太陽が顔を覗かせて青空が見えてきた、気温もぐんぐんと上昇してきたので待望の虹の滝へのシャワークライミングである。

ラーメンタイムを済ませ、落差15mの滝に私がフルウェットを着込んで早速に登り始めるが気持ちいいことこの上ない、最高である。しかしそうも言ってはおられず、上からの懸垂下降の始まりである。

さあ、先ほどの岩とは違いゴウゴウと音を立てる轟音に彼女達はもう手足がすくんでしまい、いままでの練習もどこかへぶっ飛んでしまい、完全にパニックっている、下から私の大声が聞こえたようで何とか自分を取り戻したようで・・・少しは笑みがこぼれてきたか？

もう一つ上の滝も登ろうとなり、最初に私がノーザイルで挑戦するが、すごい水量で息が出来なく休み休みなんとかに登り切る。ここはみんなは危ないので早速に上でトップピレーでみんなを確保して登らせるがそれでも悪戦苦闘しているもようである。

そんなこんなでこの1泊2日はものすごい充実した楽しい一日でした。

彼女たちは帰りは雪彦温泉に浸かって疲れを癒して帰りました。我々は明日の白浜トリアスロンの積み込みでまだまだ一仕事でした。

また遊ぼうぜ！！